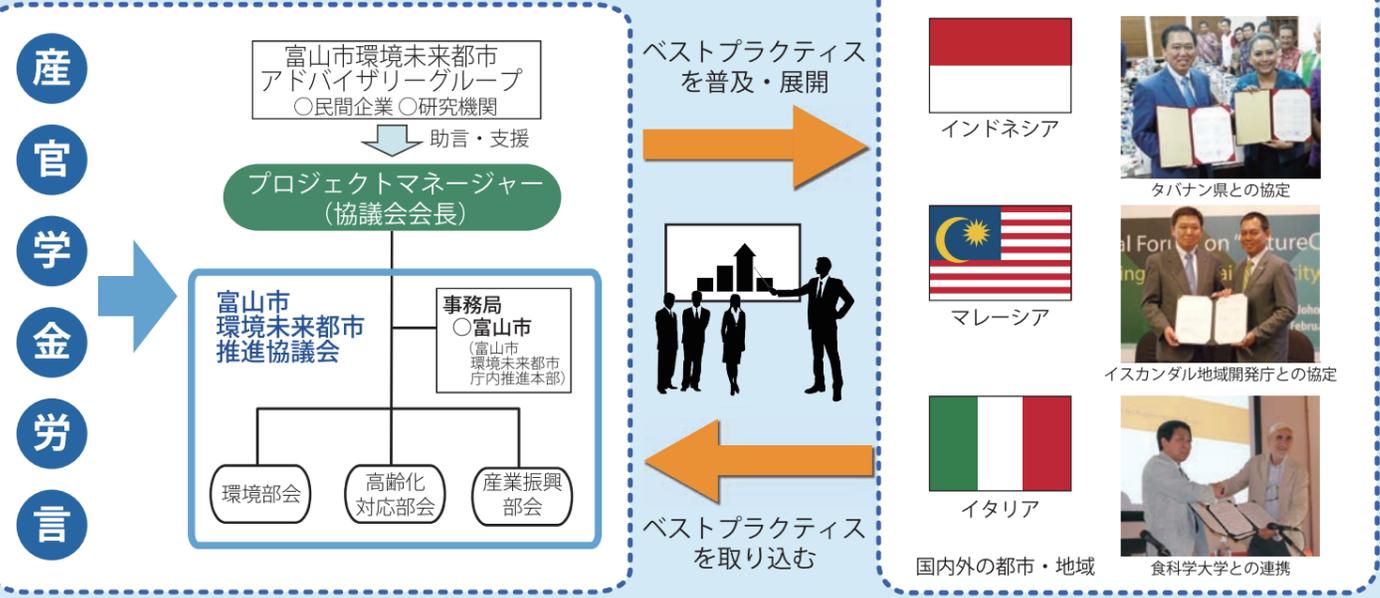


# 第2次富山市 環境未来都市計画

コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築  
～「持続可能な付加価値を創造し続けるまち」の実現～

## ■取組みの推進方策

- ・地域の関係者（産・官・学・金・労・言）によるコンソーシアムを組織し、効果的なプロジェクトマネジメントを運用することで、実効ある取組みを継続的に実施する体制を構築します。
- ・これまでに構築した国内外のネットワークを最大限活用し、各取組みにおける成功事例（ベストプラクティス）を情報発信し、普及展開に努めます。



## ■環境未来都市構想概要

### 環境未来都市構想とは？

特定の都市を環境未来都市として選定し、21世紀の人類共通の課題である環境や超高齢化対応などに関して、技術・社会経済システム・サービス・ビジネスモデル・まちづくりにおいて、世界に類のない成功事例を創出するとともに、それを国内外に普及展開することで、需要拡大、雇用創出等を実現し、究極的には、我が国全体の持続可能な経済社会の発展の実現を目指すものです。

### 計画の目的・位置づけ

本市は、平成23年12月に、国から「LRTなどの公共交通を軸としてコンパクトシティを目指す戦略的な提案であり、地方都市の抱える課題の解決モデルになり得る」として環境未来都市に選定されました。この選定を受け、まちづくりの上位計画である「富山市総合計画」をはじめ、「富山市環境基本計画」、「富山市都市マスタープラン」、「富山市高齢者総合福祉プラン」など、各行政計画と整合・調和を図りながら、本市の地域特性を活かした取組みをまとめた「富山市環境未来都市計画（平成24年度～平成28年度）」を策定したところです。

このたび、新たに策定する「第2次富山市環境未来都市計画」は、現行計画の成果と課題を踏まえ、本市の目指すべき方向性を明らかにし、新たな施策を推進するための指針としての役割を持つものです。

### 計画期間

平成29年度から平成33年度までの5年間の計画期間とします。

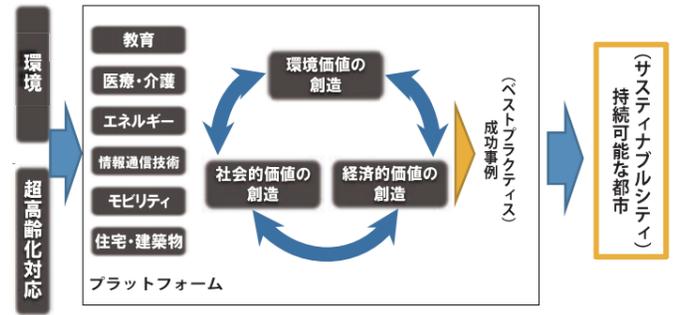


図 環境未来都市構想イメージ

平成29年3月計画策定

## ■目指すべき将来ビジョン

第2次富山市環境未来都市計画では、目指すべき将来ビジョンを以下のように設定しています。

- 都市のかたち**：公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現
- 市民生活**：地域生活圏ごとの魅力や質を高めるまちづくり・医療・健康・福祉を支える地域包括ケアシステムの構築
- 産業活動**：再生可能エネルギーの導入・活用など、足腰の強い産業構造の実現
- 国内外の都市・地域**：環境先進都市のブランド化の推進、取組みの国内外への普及展開を通じた持続可能な経済社会構造のモデル化

## ■将来ビジョンへの課題と目標

上記のビジョンを実現するために、6つの視点に分けて課題と目標を設定しています。

<p><b>基本目標1 低炭素・省エネルギー (コンパクトなまちづくり)</b></p> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国的にも低密度な市街地</li> <li>自動車への高い依存と公共交通の衰退</li> <li>生活拠点ごとの特性に合わせた都市機能の集積</li> </ul> <p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通利用に適した都市機能の誘導</li> <li>家庭部門でのCO2削減</li> <li>運輸部門でのCO2削減</li> <li>地域特性に応じた質の高いライフスタイルの構築</li> </ul>	<p><b>基本目標1 低炭素・省エネルギー (再生可能エネルギー等の普及)</b></p> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化石燃料への過度の依存</li> <li>非常時における安定的なエネルギー源の確保</li> <li>エネルギー効率の改善ペースの倍増</li> </ul> <p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーによる産業振興と環境・経済面での好循環の形成</li> <li>災害時のリスク低減のための分散型エネルギーシステムの構築</li> <li>ライフスタイル・ビジネススタイルの低炭素化</li> </ul>	<p><b>基本目標2 医療産業等の強化</b></p> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>薬用植物の海外調達</li> <li>医薬品配置販売業の衰退</li> <li>グローバル化の進展と国際競争激化</li> <li>地場産業のブランド力向上、観光資源としての活用</li> </ul> <p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富山産業用植物の安定供給</li> <li>伝統を活かした健康増進の仕組みづくり</li> <li>医薬品産業・関連産業の競争力強化</li> <li>「富山のくすり」の強みを活かした商品価値の維持・向上</li> </ul>
<p><b>基本目標3 地域の介護・福祉</b></p> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>超高齢社会による福祉従事者の負担と社会保障費の増加</li> <li>自動車を自由に運転できない高齢者等の増加</li> <li>少子高齢化や単身者増による地域コミュニティ機能低下</li> </ul> <p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>きめ細かな介護予防事業の展開</li> <li>自動車に依存しない生活環境の形成</li> <li>住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築</li> </ul>	<p><b>基本目標4 農業・林業・水産業</b></p> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産業の衰退と耕作放棄地の増加</li> <li>災害防止や水源涵養等の森林機能の低下</li> <li>健康志向の高まりによる薬用作物や健康作物の需給逼迫</li> </ul> <p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>強い農林水産業の振興などによる農山村地域の活性化</li> <li>環境体験学習や癒し空間としての里山空間の活用</li> <li>農業の6次産業化の推進</li> </ul>	<p><b>基本目標5 国内外の都市・地域との連携</b></p> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少や少子・超高齢社会の進展による地域経済の縮小</li> <li>温室効果ガスの増加に起因する気候変動の深刻化</li> </ul> <p><b>目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境未来都市としての官民一体となった成功事例の他都市・地域への普及展開</li> <li>環境問題や高齢化への対応など、世界共通の諸課題に対する貢献</li> </ul>

# 取組方針

第2次富山市環境未来都市計画では各課題と目標に対して、以下のような方針で取組みを進めていきます。

**基本目標 1**  
低炭素・省エネルギー  
コンパクトなまちづくり

- 異なる交通モード間の連携
- 地域特性に合わせた都市機能集積
- 多世代居住や世代間交流の推進による多様な魅力的な生活環境の形成
- 公共交通の利用啓発



**基本目標 1**  
低炭素・省エネルギー  
再生可能エネルギー等の普及

- 地域特性を活かした再生可能エネルギーの普及
- 公共施設等における災害時のエネルギー源の確保
- 水素社会の実現に向けた新たな産業の育成
- 市民の環境意識醸成



**基本目標 2**  
医療産業等の強化

- 薬用植物の生産システム構築支援
- 医薬品配置販売業の担い手育成
- 医療バイオ分野の研究開発型ベンチャーの支援
- 富山の物産の情報発信



**基本目標 3**  
地域の介護・福祉

- 高齢者の介護予防と在宅支援サービスの充実
- 富山型デイサービスの普及促進
- 歩いて暮らせる健康・福祉のまちづくりを支援
- まちなかでの地域包括ケアシステムの構築



**基本目標 4**  
農業・林業・水産業

- 企業や大学と連携した6次産業化
- 「地産地消」の推進と市内農家の生産体制の強化
- 森林資源の有効活用による効率的かつ安定的な林業経営の確立
- 呉羽丘陵をフィールドとした里山の活用



**基本目標 5**  
国内外の都市  
・地域との連携

- 国内外への積極的な情報発信によるグローバル・ブランド化
- 持続可能な社会を目指す都市・地域によるネットワーク形成
- 都市間連携を活用した国際協力事業への支援



# 価値創造

これらの取組みを通して、「環境」「社会」「経済」の3つの価値を総合的に創造することで、「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」を実現していきます。

**環境価値**

- 自動車から公共交通、徒歩への転換によるCO2削減
- 農林業活性化による自然環境維持
- エネルギー効率改善
- 気候変動の抑制

⇒低炭素・省エネルギー化等によって、自然環境を維持し、誰もが暮らしたい富山市を目指します。

**社会的価値**

- 自動車から公共交通、徒歩中心へと転換
- 再生エネルギー普及への市民参加の機会増加によるコミュニティの活性化
- 国際貢献を通じたシティプロモーションの推進

⇒健康・医療の充実等を通じて、超高齢社会においても、誰もが活力ある富山市を目指します。

**経済的価値**

- 中心市街地の活性化
- 化石燃料節約によるコスト削減
- 再生可能エネルギービジネス振興による雇用の創出
- 成功事例の国内外への展開支援を通じた地域経済の活性化

⇒市内企業の雇用・所得の創出等により、持続可能な経済システムを構築します。

# 今後5年間に実施する取組み

上記の価値を総合的に創造するために、以下の15の取組みを実施していきます。

**01 LRT ネットワークの形成**

富山ライトレールと市内電車のJR富山駅高架下での結節、市内電車の上滝線乗り入れ、富山ライトレールの電停新設・一部複線化など、富山市内の結節機能を強化して利便性の高いLRTネットワークの構築を図ります。

JR 富山駅高架下から発車するセントラム

**02 交通結節点の整備**

駅前広場やP&R駐車場、駐輪場、新駅整備による駅勢圏の拡大を図り、公共交通利用者の増加に向けて、取組みます。また、主要駅の公共交通結節点整備を行い、利便性・快適性の向上、鉄道とバスの連携を強化します。

JR 富山駅南口ロータリー

**03 バス交通のサービス水準の充実**

運行頻度の高い路線には高齢者にも乗車しやすいノンステップバスやハイグレードなバス停の導入などを優先的に進め、路線バスのイメージアップや利用者の利便性向上を図ります。

大型ノンステップバス

**04 セーフ & 環境スマートモデル街区の整備**

公共交通沿線の未利用地等において、再生可能エネルギー等を活用した環境負荷の少ない住環境整備を促進するとともに、公共施設や商業・医療・福祉施設等を適切に配置し、公共交通沿線の居住誘導や都市機能の集積を図ります。

環境配慮型住宅

**05 再生可能エネルギーを活用した農業活性化**

農業用水を活用した小水力発電所の整備や余剰電力の売電など、自立型の農山村自給モデルを確立します。また、営農サポートセンターに再生可能エネルギー設備を導入し、コストダウン等の有用性の「見える化」を図ります。

農業用水を活用した小水力発電

**06 薬都とやま薬用植物栽培工場の構築**

健康志向や長寿社会を背景とした漢方薬・生薬ニーズの高まりや地元製薬会社のニーズを踏まえ、医療系大学の知見を活用した環境配慮型栽培手法による薬用植物の栽培工場システムの構築を目指します。

薬用植物栽培工場

**07 ヘルシー & 交流タウンの形成**

居住者が安全・安心・快適に生活し、買物や散歩を楽しめる環境を整備します。また、高齢者や外国人、若年層など多様な人々が安全にまち歩きを楽しめるように、中心市街地の回遊性を高める整備を進めます。

まちなかでの歩行補助車利用

**08 地域コミュニティ主体の交流空間の整備**

地域コミュニティが主体となって、空き地等を農園や広場等のコミュニティガーデンとして整備し、地域の連携を深める活動の場とします。また、高齢者の外出機会や若年層との世代間交流の場として活用します。

ふれあい農園

**09 エゴマ6次産業化によるビジネスの推進**

大学等の研究機関と連携してエゴマのブランド化を行い、6次産業化を推進します。また、イタリアの食料学大学と提携して新たな商品開発を行い、世界に通用するグローバル・ブランド化を目指します。

エゴマ栽培畑

**10 エコフォレストとやま（林業の施業集約化）**

森林整備を一層進めるための林業集約化や森林資源を活用した排出権取引、代替エネルギーとしての間伐材利用など、森林資源を活用したビジネスモデルの構築を目指します。

木質ペレット製造工場（とやまペレット）

**11 呉羽丘陵にフィールドミュージアムを形成**

大学や病院と連携して、誰もが安全・快適に森林空間を散策できる環境を整えます。また、呉羽丘陵の里山空間を活用した再生可能エネルギー導入や市民の体験学習の場としても活用します。

呉羽丘陵たんけん隊

**12 農山村地域コミュニティビジネスの創出**

過疎化や少子高齢化の進行により地域活力が低下している農山村地域と、都市部の若い世代等との交流・連携を促すことで、コミュニティビジネスを創出し、魅力ある農山村地域づくりを目指します。

農山村コミュニティビジネス

**13 水素エネルギーによる持続可能な社会の構築**

水素社会の実現に向けて、家庭用燃料電池等の活用を推進するとともに、市内の民間企業等が推進してきた「水素供給体制の構築」や「燃料電池自動車の普及」を支援します。

水素ステーション（イメージ）  
出典：富山水素エネルギー導入促進協議会

**14 下水処理施設における消化ガスの有効利用**

浜黒崎浄化センターの污泥から発生する消化ガスを再生可能エネルギーとして有効活用することにより、温室効果ガスの排出量削減を推進します。

浜黒崎浄化センター

**15 環境施策のパッケージ化と都市間連携**

JICAやJETRO、ICLEI、世界銀行などの国際機関や国内外の都市・地域とのネットワークを活用し、本市の取組みを国内外に普及展開することで、市内企業の新たなビジネスチャンスの創出を支援します。

JICAとの覚書の締結